

所蔵資料紹介 (特定歴史公文書等)

東京大学「紛争日誌 その3」(2) および「紛争日誌 その4」(1)

井 上 いぶき・秋 山 淳 子

第37～39、41号からの継続として、東京大学による大学紛争の経過記録「紛争日誌」(《「紛争日誌」資料群》の概要については第37号を参照)につき、今号では「その3」の後半部分および「その4」の前半部分、1968(昭和43)年12月の翻刻を掲載する。

11月に発足した大学新執行部は、学生との大衆団交「提案集会」実現を目指したが、29日の集会は流会となった。12月2日に「提案集会」に代わる方針として、加藤総長代行名で「学生諸君への提案—今後の討議のために—」が配布される。これに呼応し各学部で学生大会が開かれ、ストライキ反対派学生と「民青系」を中心に「代表団」選出と封鎖解除に対する議論を活発化させていく。16日以降、「大学側全学集会交渉委員」と「7学部代表団」は、予備折衝を開始すべく協議を進めた。一方「共闘会議派」へは、加藤総長代行より23日に「話し合い」を求めた申し入れを行ったが、実現には至らなかった。そこで、大学執行部は「7学部代表団」との協議をすすめ、26日には東京天文台で全学集会にむけた非公開予備折衝が行われ、1月10日の公開集会への流れがつけられていく。

同時に、本郷・駒場キャンパスともに、紛争解決の主導権をめぐるセクト間対立が激化、多数の外部勢力が流入し、武力を伴う集会・デモ・衝突に発展、混乱を極めた。そうした状況に批判的な学生の支持をえて、各学部の封鎖解除も開始されていく。

また、23日以降は入試実施をめぐる議論も散見される。29日に大学執行部が「現時点の判断として」入試中止と結論づける記述は、文部省との交渉過程としても興味深い。

なお、翻刻に際しての注意点や凡例については第37号に記載されているので、あわせて参照されたい。翻刻作業は当館職員(井上いぶき・秋山淳子)の分担によるものである。

「紛争日誌 その3」(2) (1968(昭和43)年12月1日～12月16日)

12月1日(日)	2:00頃	教養学部第8本館(教養学科、大学院国際関係論、比較文学等の研究室所在)に全学斗争連合の大学生、院(国際関係論、都市工学、建築等)を中心とした約30人が同館にバリケードを築き、午後4時頃完全に封鎖した。
----------	-------	--

12月2日(月)	13:00	<p>法学部 25 番教室において工、経、農 3 学部の全学集会 (大衆団交) 代表団との公開予備折衝が行なわれ、大学側から加藤総長代行および坂本義和 (法) 高野暲 (工) 各教授、石井柴郎 (法) 島地謙 (農) 各助教授の 5 人が出席、学生側は約 500 人が入場した。</p> <p>同公開予備折衝では学生側は① 11 月 29 日の提案集会強行②大衆団交の計画、形態をどのようにするか等について総長代行に迫った。これに対して加藤総長代行は次のとおり述べた。</p>
<p>1 提案集会について</p> <p>①学生間の意見の不一致のため全学集会開催が困難であったが 11 月 29 日の時点において、大学の統一見解を早急に発表し、全学集会へ向けて討論材料を供するため提案集会を行なった。しかし流会となったため文書で提案することとした。提案はあくまで提案であり、全学集会を促進する意図をもったものである。②混乱について事前の見通しが甘かったことは反省する。③現時点において 11 月 29 日のような提案集会は行なわない。</p> <p>2 告示と提案</p> <p>従来の告示形式の背後にある教授会決定を大学の最終方針とする一方法決定方式の考えへの反省として提案形式をとった。提案を討論材料として大学と学生との論議によって合意を求めていく新しい方向性を打ち出したものである。しかしことさらによっては大学側の一方的な押し付けは勿論さけるが、教授会のみで決定し、それを告示で示すことができる事項もある。</p> <p>3 大学の自治への見解</p> <p>①東大パンフは当時の大学の自治の制度、慣行における考え方を述べたものである。</p> <p>②同パンフに述べられた大学の自治=教授会の自治、大学の自治に包括され、かつまた教育的見地からのみ許される学生の自治は学生の正当な権利の主張の方向に向って再検討することが必要である。</p> <p>③その場合学生の権利の主張には学生の責任が伴う。また大学の自治は外部の勢力との接触について慎重な配慮が必要である。</p> <p>④今後は大学の管理運営へ広義の意味での学生の参加 (意志を反映させる) が必要である。</p> <p>⑤このような観点に立って新しい大学像を生み出し、処分権等を再検討していくつもりである。</p> <p>4 学部自治</p> <p>学部自治原則が外部勢力の干渉からの防波堤となってきたが、今後は学部自治を尊重しつつ全学的問題を積極的に処理していくためには学部自治の枠をこえていかねばならないであろう。</p> <p>5 処分問題</p> <p>①現行処分制度では処分基準で主観的意図はどうあれ、教授が教授の立場からのみ処分するのであり客観的結果と異なることもあり、今後新しい大学像を生み出す中から処分制度を再検討の必要がある。</p> <p>②文学部処分については、その教育的処分自身の間われているのであるが、教育的処分か否かは内部規律維持、"学生の本分"をどうとらえるかで判断されようが、それは時代とともに変化する。</p> <p>6 8・10 告示</p> <p>8・10 告示の背後にある大学の姿勢 (大学の自治=教授会の自治) は反省する。しかし 8・10 の時点においては告示内容は正当であり当時はあの形式しかない。</p> <p>7 大衆団交</p>		

<p>①この度の東大紛争においては全学集会を最終意志決定機関とする。しかしこれは臨時的なものであり日常の決定方式において学生の参加をどうするかは今後大学と学生の討議で検討していく。</p> <p>②団交は積み重ね方式をとり、団交での合意事項は双方の決定機関（教授会、学生大会）へ持ちかえり確認し、次回の団交で最終決定する。</p> <p>③合意に達しない事項の決定をどうするかについては今後の予備折衝で論議する。さらに次の事項につき確認が行なわれた。</p> <p>(1) 現時点では、11月29日のような提案集会は行わない。</p> <p>(2) 斗争の無原則収拾は行なわない。</p> <p>(3) 大学の自治＝教授会の自治が、この斗争で最も批判されていることを確認し再検討していく。</p> <p>(4) 学生の自治についても再検討する。</p> <p>(5) 大衆団交において最終意思決定をする。</p> <p>以上の折衝が行なわれ午後3時10分終了した。</p>	
13:00	<p>教育学部156番教室において同学部学生大会が開かれ、約100人が参加した。</p> <p>大会では討論の後、育斗争委提案を否決、育自治会提案（①統一代表団による全学大衆団交の早期実現②4項目要求貫徹③政府、文部省の介入による大学閉鎖、機動隊導入を許すな。④図書館の封鎖解除、教育学部封鎖阻止、全学バリケード封鎖阻止、ただし封鎖阻止行動のため全国の学友と連帯しての行動は民主的手続＝学生大会の決定によること）を賛成48、反対31、保留5で可決し、午後7時50分大会を終了した。</p>
15:30	加藤総長代行の「学生諸君への提案」と題するハンプを学内各所で配布した。
18:30	加藤総長代行が神田の学士会において記者会見を行なった。

12月3日(火)	10:00	学部長会議開催（医科研）
	13:00	経済学部1番教室において同学部学生大会開催が予定されたが参加者約170人で定足数（200人）に足せず討論集会となり、午後6時40分頃散会した。
	13:40	学部長会議（医科研）
	13:40	評議会開催（〃）
	16:25	〃 終了
	16:45	学部長会議再開（医科研）
	17:46	〃 終了
		<p>(その他)</p> <p>1. 本日限り大学問題検討委員会は廃止された。</p> <p>2. 午後4時から東院協主催「最近発生の暴力事件糾弾集会」開催が予定されていたが行なわれなかった。</p>

12月4日(水)	8:30	<p>正門前に下記立看板が掲出されている。</p> <p>〔 12.6 提案粉碎全学総決起集会 解散講堂に全力結集せよ</p>
----------	------	---

		古田会頭一国家権力の弾圧をはねかえせ、斗う日大の学友と連帯せよ 学生解放戦線 全学斗
8:30	大講堂前立看板に反帝学評行動日程が記載されている。	<ul style="list-style-type: none"> ① 12月 12～13 日 安保粉碎、沖縄解放、教育斗争勝利対国会斗争 (全学連、都学連) ② 同 16 日 東大斗争勝利全学労学大討論集会 (社学同、全国反帝連合) ③ 同 17～18 日 反帝学評連合第 3 回大会 ④ 同 19 日 安保粉碎、沖縄解放対政府国会斗争
13:00	農学部 2 号館農芸化学第 1 講義室において同学部学生大会が開かれ、213 人が参加し、討論の後提案採決を行ない、午後 6 時 30 分に大会を終了した。(採決状況別紙)	
14:00	工学部講堂において同学部団交予備折衝が開かれ教官側約 100 人、学生側約 500 人が参加した。(なお、工 2 号館 21 番教室はテレビ中継を行なった。) 同折衝では学生側から大衆団交方式は「団交での合意事項は双方の決定機関 (教授会、学生大会) へ持ち帰り、確認し、次回の団交で最終決定する」との提案を行ない、この確認を迫った。この回答は教授会にはかった上ですととして、折衝は物分れのかたちで午後 3 時終了した。	
14:15	法学部 25 番教室において同学部学生大会が開かれ、620 人が参加した。大会では全学集会代表 5 人を選出後一般討論、提案採決を行ない午後 9 時大会を終了した。(状況別紙)	

農学部学生大会報告				
昭和 43 年 12 月 4 日午後 1 時～6 時 30 分			化第 1 講義室 出席者 213 名	
提案者	賛成	反対	保留	可・否
農学部共斗会議提案 (提案内容) 加藤提案粉碎、 全学バリケード封鎖	59	128	26	否決
農学部代表団 (一般民青) 提案	101	75	36	可決保留
農化他有志共同提案 (提案内容) スト終結	62	133	18	否決
農生 3 年有志提案 (提案内容) 図書館封鎖解除	76	87	44	否決
緊急提案				
農学部共斗会議提案	54	80	18	否決

可決保留となった提案の内容

- (1) 我々は七項目要求を基礎にし大学の自治=教授会の自治を打破して学生参加の方向を追求しよう。
- (2) 「加藤提案」の不充分性を徹底的に討論し、クラス討論をまきおこし、これを踏まえたくえで全学大衆団交を追求しよう。

次回の学生大会

12月11日(水) 午後1時 化1

12.4 学生大会

No.1

東京大学法学部

43.12.4

- 2:15 法学部学生大会開会
議長より前回の学生大会における法斗委の姿勢を自己批判するよう提案。
法斗委は自己批判するような姿勢で議場に上がり緊急動議を出す。自己批判せず。
(動議内容)
代表団選出の前に一般議題を行なう。
 - 2:25 採決
学生数 441
賛成 86 否決
法斗委は議場を一時占拠したが、一般学生の非難をあげ会場を去って議場は平静になる。
 - 2:40 立候補締切(氏名は下記のとおり)
 - 2:45 選挙管理委員10名承認
 - 2:50 応援演説開始
- | | | | | |
|---------|-----------------|-----|-------|------|
| 43.4(1) | 坂東司朗(封鎖阻止実行委員長) | 187 | (得票数) | (当選) |
| 43.4(1) | 河内謙策(現緑会委員) | 187 | 〃 | 〃 |
| 42.4(2) | 成田憲彦(懇談会) | 237 | 〃 | 〃 |
| 42.4(3) | 加藤哲郎(大会議長) | 159 | 〃 | 〃 |
| 42.4(2) | 保倉裕(懇談会) | 240 | 〃 | 〃 議長 |
| 42.4(2) | 藤井純太郎(連絡会議) | 154 | 〃 | (落選) |
- 立候補順
(発表は5時50分)
◎(有効数606、無効4、白紙10)
- 5:55 一般討論に入る
緑会提案 全学集会早期実現
学懇〃 無期限ストライキ解除、連絡協議会設置、全学集会の開催
法斗〃 全学封鎖(法研封鎖)、提案粉碎

No.2

採決一覧表

P.M 8:00

現在数	453	} 455			
委任状	2				
	賛		反	保	
緑会	111		270	56	(否決)

	懇談	169	246	28	〃
	法斗	87	323	34	〃
P.M 8:20	安達・倉田提案を議題とするか否かについて賛 236 で採択することを可決				
P.M 8:55	現在数	309	} 311		
	委任状	2			
		賛	反	保	
	① 安達	178	80	39	(可決)
	倉田				
	① 図書館封鎖解除を法学部生の意志で決定しよう				
	河内提案……12月10日乃至12日に学生大会を開こう (これは定足に充たないため集会決議となる)				

12月5日(木)	14:00	<p>理学部2号館講堂において同学部学生大会が開かれ、250人が参加した。</p> <p>大会では討論の後、全学集会代表正1人(副代表2人は11月28日選出済)の選出を行ない唐牛(民青系)が選出された。その後提案の採決に入り①理斗争委提案(11・2加藤提案拒否、7項目要求、全学バリケード封鎖)②自治会提案(スト体制強化、8項目要求、大衆団交早期実現)③理有志提案(共斗会議の全学封鎖方針反対、共斗会議民主化行動委の外人部隊導入糾弾、今回の斗争の実りある早期解決を目指し努力しよう)の3提案がそれぞれ否決された。</p> <p>またこの後緊急提案が出されたが、その5提案はいずれも否決された。(内物理4年石渡はスト解除を提案したが賛成54、反対170、保留25で否決された)。大会は午後11時30分終了した。</p> <p>(その他) 文学部スト実行委に同学部一般学生が225人の署名をもって押しかけ、「早急に学生大会を開くこと」を要求した。(サンケイ新聞による)</p>
----------	-------	--

12月6日(金)	0:30	<p>駒場の教養学部正門の脇門から早大の革マル系学生約50人がヘルメット、角材姿で侵入し、明寮の社会思想研究会の部屋に押しかけ、窓ガラス、備品等を破壊し社青同系学生約30人と同寮前で乱斗を行なった。一般学生約200人がかけつけ「暴力反対」を呼び割って入ったが、この乱斗で8人が負傷(内重症3人)した。革マル系学生は約30分後、裏門から学外に退去した。このあと一般学生はこの事態を予め予想し、前日午後9時30分頃から社青同系学生が立籠っている教職員会館(封鎖中)に押しかけ同派のリーダー野村に抗議すると共に付近を警戒したが、午前2時30分頃解散した。(同衝突の原因は前日の5日、早大で開かれた両派の合同集会のさい上記野村が早大の革マル系学生に乱暴したことから、両派が対立し、その仕返しのため)同事件に対し、目黒署は傷害事件として捜査を始めた模様。</p>
----------	------	--

10:00	学部長会議開催（法）
12:40	教養学部第1本館（封鎖中）に革マル系学生約150人（主力早大）が集結し、角材を搬入している。
13:45	学部長会議終了
14:00	経済学部第1教室において同学部集会が開かれ、教官25人、学生約170人が参加した。 同集会では12・2加藤提案について意見が交換され、午後6時20分終了した。
14:20	教養学部第1本館前で革マル系、フロント、ML派学生約150人が集会を行なう。 また社青同系学生約30人が教職員会館で集会を行なう。
14:40	大講堂前に共斗会議派学生約50人が集合
14:50	駒場の第1本館前で集会を終わった革マル系、フロント、ML派学生約155人が本郷に向った。
14:50-16:00	①正門から下記学生が入構した。 教養学部フロントおよびML派学生40人、革マル系学生110人（早大生で文学部3番教室に入る）、教養学部のアナキスト13人 ②赤門からは31人が入構した。
15:00	大講堂前の共斗会議派学生は学内デモを行なったが再び大講堂前に戻り、討論を行なう。
15:30	上記学生約150人となる。
15:30	駒場の第1本館中に集結していた革マル系学生約150人は駒場構内を出構約50人が本郷に向い他は解散した。また教職員会館に集結した社青同系の学生も構内から退去した。（行先不明）
16:00	大講堂前広場において“12・6加藤提案粉碎全学総決起集会”が開かれ、参加の共斗会議派学生は約300人となる。 集会では各学部代表がそれぞれ12・2加藤提案を批判し、また日大代表が同大学紛争について報告を行なった。
17:20	上記集会を終了、デモに移り、大講堂前—病院—医学部本館—赤門—都電通り—正門—大講堂前のコースで行進した。
17:45	大講堂前で再び集会を開く。
17:55	同集会を終了、解散した。
19:30	文学部3番教室で待機していた革マル系学生は三三、伍伍正門から出構した。
20:30	午後6時頃から革マル系学生はトラックを浜尾銅像脇に待機させていたが、これに角材、竹ざおを積み込み竜岡門から搬出した。また同系学生40人が正門から出構した。その後午後9時に13人がさらに正門から出構した。
21:40	民青系学生約50人が赤門から入構し、教育学部に入る。
22:15	教育学部から民青系学生が出てその周辺をデモした。
23:10	民青系学生は約600人（殆んど他大学生）に増え、教育学部前で“全都総決起集会”を開いたが、午後11時50分頃から教育学部、図書館周辺をデモし、東大斗争勝利、封鎖粉碎を叫んだ。

12月7日(土)	0:00	民青系学生は学内デモを終り、約300人が赤門から出構した。
	0:45	上記学生は約80人が理学部1号館に約220人が教育学部に泊り込んだ。
	13:00	工学部講堂において同学部学生大会が開かれ、1,139人が参加した。同大会では討論の後提案の採決を行ない午後10時終了した。(採決結果別紙)
	22:00頃	駒場の教職員会館前に社青同系学生約150人(殆んど早大その他都内大学生で労働者若干を含む。これらの学生は午後8時頃東大駒場駅裏口から入構したと思われる)が集めた。
	22:40頃	上記学生はゲバ棒、竹竿で武装し、北寮前に集合、リーダーが寮生にアジ演説を行ない、中寮南2番(革マル)を狙う様子であったが、11時50分頃構内をデモ後教職員会館に戻りそのまま泊り込みを行なう。

工学部学生大会採決状況

11.7 午後1時～同10時 於、工講堂

入場受付 1,139人

(午後6時) 第1回採決 (出席 918人)

①工スト実行委提案	賛成 404	反対 462	保留 45	否決
②学生代表団提案	〃 449	〃 423	〃 29	可決・保留
③工・有志連合提案	〃 439	〃 433	〃 39	〃 〃
④工・民主化を闘う会提案	〃 212	〃 508	〃 161	否決

(提案内容)

- ① 7項目要求、加藤提案拒否
- ② 7項目要求、団交の結果は持ち帰り学生大会を開き確認し、次回の団交で最終決定する。
- ③ 7項目要求、スト実解体、新斗争委の設置
- ④ 早期大衆団交実現

(午後9時30分) 第2回採決 (出席 836人)

①電気・電子有志緊急提案	賛成 443	反対 317	保留 70	可決
②スト実行委緊急提案	〃 398	〃 403	〃 24	否決

(緊急提案内容)

- ① 加藤提案は学生の主体的活動に対する大学当局の規制を手続、制度、慣行の問題にすり替え一定の反省を示しつつも、その根本的自己批判を回避し、学生運動を大学の秩序の枠内に押し込めようとしている。
我々はこの8・10告示の延長としての加藤提案を断固拒否する。
- ② 欺瞞的全学集会、取捨策動を粉碎し、大衆団交7項目要求を貫徹しよう。
なお、大衆団交の折衝には工・スト実行委があたる。

12月8日(日)	15:50	駒場において社青同系学生約10人が、武装して教職員会館に入入する。革マル系学生は北寮付近に見張りを出し警戒を行なう。
	17:00頃	教職員会館付近を革マル系学生2人(國学院大2年【個人氏名】と他1人)がパトロール中、社青同系学生4~5人と衝突し、革マル系学生はそのまま教職員会館に連れこまれ約4時間で解放されたが負傷しており救急車で病院に運ばれた。

	24:00 頃	この事件で機動隊約 200 人が正門前に出動したが、宿直の上原第 6 委員長らが接衝した結果、大学構内に立ち入ることなく引きあげた。
12月9日(月)	0:30 頃	駒場において寮生数 100 人が教職員会館前で社青同系学生に退去を要求した。
	12:00	田村教養学部長名で連日の衝突事件に対し、社青同系学生、革マル系学生双方に駒場構内からの退去を要求する「警告」を同構内各所に掲示した。
	12:20	教養学部第 6 委員長、同学生課長から「上記警告」を双方の学生代表に手渡した。
	13:00	薬学部記念講堂において同学部学生大会が開かれ、104 人が参加した。 大会では討論の後、提案採決を行ない、午後 8 時 30 分終了した。 (内容別紙)
	14:00	理学部 2 号館講堂において同学部院生大会が開かれ 280 人が参加した。 大会では討論の後、提案採決を行ない、午後 11 時終了した。(内容別紙)
	14:30	教育学部 156 番教室において同学部集会が開かれ教官約 15 人、学部学生、院生約 70 人、助手、職員組合員等約 15 人が参加した。同集会では 12・2 加藤提案について意見の交換が行なわれた。

薬学部学生大会報告 (12・9)

1. 加藤代行の提案の評価

① スト実案

加藤執行部の出した学生諸君への提案いわゆる「12・2 提案」を徹底的な批判を通じて拒否しよう

賛成	反対	保留	キケン	無効	(否決)
36	51	13	3	1	

② 4 年渡辺案

「12・2 加藤提案」は我々の斗争の前進の中で出されてきたものであり、我々の要求を完全に認めたものではないが、大衆団交の討議の素材として不十分な点を追求してゆく。

賛成	反対	保留	キケン	無効	(否決)
29	54	15	4	2	

③ 4 年中川案

「加藤提案」は不十分であるが、検討に値するものとして前進的に評価し、我々の考えを明らかにし大衆団交にのぞもう

賛成	反対	保留	キケン	無効	(可決保留)
52	40	8	1	3	

(注) 投票数は 104 票 (議長 2 名除く) の過半数により議決するという慣例に従った。

確認事項 (4 年中山提案)

早急に自治委員改選を行ない、自治委員会を再建すべきである。このため以下のことを提案する。

1. 早急に 3 年、4 年クラス会を開き、新自治委員を選出する

2. 新自治委員会は速やかに正副委員長・中央常任委員候補を選出して、選出された者は、定例学生大会が開かれるまでの間、その職務を代行する。
3. 正副委員長代行は速やかに定例学生大会を開催する。

大衆団交に向けて提案が二つ出されていたが、採決時には現在数 60 で定足数 65 に達せず流会。

理学部大学院生大会 (12・9)

1. 提案採決

①自治会提案 (I)	賛成 150	反対 109	保留 21	可決
② 〃 (II)	〃 170	〃 74	〃 15	〃
③物理個人提案	〃 149	〃 94	〃 33	〃
④理斗争委提案				否決
⑤素粒子有志提案				〃

(提案内容)

- ①大衆団交早期実現、4 項目要求、理教授会へ 6 項目要求
- ②上記目的達成のため 12 月 13 日から 10 日間授業、ゼミ放棄および全学集会代表団 2 人を追加選出する
- ③冬休み同盟登校する。

2. 特別決議

- | | |
|-----------------------------------|----|
| ①東職、病職斗争支援 | 可決 |
| ②全学封鎖反対、全学共斗会議の封鎖解除および武装解除と暴力テロ糾弾 | 可決 |

3. 全学集会代表団 2 人の追加選出松川、平戸を選出した。

12 月 10 日 (火)	7:10	早大の革マル系学生約 200 人が武装して駒場構内に入った。
	7:40	革マル系学生は二手に別れ、教職員会館に立籠る社青同系学生に攻撃をかけ約 10 数分、石やレンガの投げ合いがあり、社青同系学生はまた放水を行なって応戦した。各門は革マル系学生が制圧している。午前 8 時教養学部全教官に呼集をかけた。
	10:10-15:10	学部長会議開催 (法)
	10:30	西側テニスコート外などにトラック 5 台の機動隊が待機していたが、正午頃介入することなく引きあげた。 この間、教養学部長名で革マル、社青同双方の学生に「退去要求」と教養学部学生へ「注意して十分慎重に行動して欲しい」と呼びかけたものと、二つの掲示を出し、また革マル、社青同の学生には「退去」を求めた文書を手渡し、教官がマイクで退去を説得した。
	13:00	経済学部第 1 教室において同学部学生大会が開かれ約 550 人が参加した。 大会では討論の後、提案の採決を行ない午後 10 時 45 終了した。 (内容別紙)
	14:00	教養学部において同学部教養学科学生大会が開かれ約 110 人が参加した。 同大会では討論の後、提案の採決を行ない、午後 8 時頃大会を終了した。(内容別紙)
	16:10	法学部 25 番教室において東大職員組合との公開団交が開かれ、加藤総長代行、石川吉右エ門 (法) 教授、鈴木成文 (工) 助教授が出席、会場には職員約 600 人が入場した。

	<p>この団交には職員組合は①職員は大学の自治の担い手であることを確認せよ②東職との団交権を確立せよ③全学大衆団交（全学集会）に東職を加えよ④今後一切勤勉手当差別支給するな⑤給与改訂の5月1日実施を上申せよとの要求を掲げていたが、さらに看護婦の増員、夜勤回数の減少問題を要求した。</p> <p>加藤総長代行と職員組合との交渉で①および⑤の問題については合意に達し、②については総長代行は東職との交渉に応ずる。交渉に対しては不当な制限はしない。交渉の相手は基本的には総長代行であるとの確認を行なった③についてはオブザーバーとして参加するのはよいが、正式代表とすることは困ると回答結論は出なかった。④については総長代行は専門家に検討させると回答、さらに病院の看護婦増員要求の正当性は認める。また増員のために病院長がとる行動については支持する。看護婦の増員、夜勤回数減少については東職との交渉に応ずると回答した。</p> <p>この後①14日までに東職との交渉を行なう。②東職と交渉委員との交渉は早い明期に行なう。③以上のことを誠意をもって11日中に回答する。</p> <p>ことを確認を行ない、午後7時20分終了した。</p>
16:30頃	<p>駒場構内においては社青同系学生が教職員会館から出撃し、革マル系学生と第1本館から中寮にかけて乱斗、角材、鉄棒、投石により負傷者数人（確認2人）を出した。教養学部では救護班を編成一応保健センターに負傷者を運び込み、症状によって病院へ転送した。</p>
17:00頃	<p>民青系、クラス連合、一般学生数100人は教職員会館前に行き社青同系学生に「帰れ」と要求したが、これに対し放水した。</p>
20:30	<p>上記の一般学生等は教職員会館から引きあげて中寮前で革マル系学生に退去を呼びかけたが、革マル系学生も応じなかった。</p> <p>この間、退去を求める学生数は次第に増え、教職員会館前では2,000人近くにもふくれ上り、バリケードを外し突入しようとする試みもなされたが、激しい放水にあい、また入口に立ちふさがり、角材をつき出す学生の抵抗があったため果たされなかった。教官は学生たちの負傷を防止するため、放水を浴び罵声を浴びながら全力をつくした。</p>
21:00	<p>加藤総長代行の「学生諸君へ」と題する公開予備集会の開催を呼びかける談話を学内各所に掲示した。</p>
21:20-22:05	<p>加藤総長代行記者会見（法会議室）</p>

経済学部学生大会 (12・10)

1. 第1次提案採決

①経・行動委（民青）提案	賛成 58	反対 321	保留 122	否決
②経・斗争委提案	〃 106	〃 344	〃 57	〃
③経・ゼミ連絡会議提案	〃 181	〃 268	〃 59	〃
④経・スト実書記局（一般）提案	〃 172	〃 158	〃 175	可決保留
⑤大学革新会議有志提案	〃 79	〃 330	〃 90	否決

(提案内容)

- ①大衆団交早期実現、共斗会議の暴力、挑発行動断固阻止、9項目を要求し、東大民主化を勝ちとる

②加藤提案拒否、7項目要求
 ③7項目要求支持、無期限スト解除、有期限スト権を有する経・長期斗争委の設立、大衆団交開催要求
 ④7項目要求、大衆団交早期実現、スト体制強化、加藤提案の不十分性を討論追求し、それをふまえて大衆団交にのぞむ
 ⑤加藤提案拒否、無期限スト体制堅持、大衆団交を次の条件の下で勝ちとろう
 (1) 議題は7項目 (2) 大学の最高決定の場とする (3) 交渉主体は無期限ストで斗っている各学部、各院スト執行部主体を構成員とし全共斗がこれを統括する。

2. 第2次緊急提案採決

①経・スト実書記局緊急提案	賛成 299	反対 118	保留 79	可決
②河合個人(ゼミ)緊急提案	〃 110	〃 319	〃 70	否決
③岩崎個人(一般)〃	〃 146	〃 304	〃 53	〃

(提案内容)
 ①文・教養学部の代表団選出への動きを積極的に支援する。大衆団交の可能性をあくまで追求する
 ②現在のストを17日午後2時まで続行し、17日に学生大会を開く。定足数が不足の場合はスト続行、定足数に足すればスト解除し、長期スト斗争委を発足させる。
 ③加藤提案拒否・7項目要求

教養学部教養学科学生大会 (12・10)

1. 提案採決

①共斗会議派提案	賛成 20	反対 79	保留 8	否決
②駒場会(自治会)理事長提案	〃 27	〃 61	〃 22	〃
③有志提案	〃 52	〃 40	〃 18	可決保留

(提案内容)
 ①無期限スト、封鎖堅持、7項目要求
 ②スト続行、大衆団交実現
 ③現時点におけるスト体制解除10・22学生大会の決議を尊重し、全学集会の早期実現、大学改革を追求、大学改革の具体的試案を学生大会その他で討論し、来るべき大学改革の協議機関に提案の準備をしよう。

2. 議長提案(決議)採決

①	賛成 72	反対 15	保留 10	可決
②	〃 78	〃 3	〃 7	〃

(決議内容)
 ①全学大衆団交早期実現
 ②革マル派と社青同解放派は暴力的セクト争いを止めよ。

12月11日(水)	8:00	正門前に下記立看板が掲出されている。 { 12.13 デッチ上げ教養学部代議員大会 粉碎全学総決起集会 工・スト実 行動 12時出発 1時駒場
-----------	------	--

8:00 頃	駒場構内において社青同系学生と革マル系学生との小ぜり合いが始まり、午前8時45分には900番教室前で衝突、投石し合った。この衝突は激しく投石で傷ついた学生を反対派の学生が棒でうちのめすなどがあり、10数人の重軽傷者が生じた。このうち教職員の手によって保健センターへ搬入された者は8人(内重症2人)であった。
9:30	社青同系学生は第1本館前まで進んだが、革マルは250人位に増強して押し返したため社青同は教職員会館に帰り、防戦体制をとった。
10:40	教養学部全教官に非常呼集がかけられた。
10:30 頃	民青・クラス連合、その他の学生約300人は、第8本館に立籠っている今村養自治会委員長に12月13日の代議員大会開催の要求をしようとしたが、今村は面会せず、このためバリケード解除を始め、3階まで進んだ。同館封鎖派は4階に残り、スピーカーが落され、ヘルメットが投げられ、燃やされたりした。この間警視庁のヘルコプターがたえず上空をとび、機動隊約3,000人が大学西側に待機中との情報が入った。
11:10	革マル系学生は封鎖解除反対のデモを起し、完全武装で第8本館に向った。同時刻頃社青同系学生20人も同館に到着した。
11:25	革マル約150人が第8本館前の一般学生300人のなかに突入し、負傷者2人を出した。なお押打された者は多数にのぼった。革マルは「帰れ」と叫ぶ素手の一般学生に角材を振り、また間に立つ教官にも角材を振った。
12:50	田村教養学部長は掲示を出し「本日9時頃発生した学生派閥間の衝突事件で相当数の負傷者を出し、うち2人は意識不明…」と事情を告げ、武器携行の学生の即時退去を求めた。同時に教官はマイクで繰り返し退去を呼びかけた。 その後革マル系学生は1号館に約250人全員立籠りきりなので、午後3時過ぎから教官数人が数回マイクで夕刻まで退去を呼びかけた。なお、午後4時すぎ早大から山岡学生部長ら教官3人がかけつけ、革マル系の成岡庸治委員長を呼び出し説得を行なった。
13:00	農学部2号館化学1番教室において同学部学生大会が開かれ271人が参加した。 大会では討論の後提案の採決を行ない、午後7時終了した。(内容別紙)
23:00	警視庁警備部長から「ここ数日駒場構内で衝突事件が相つぎ発生、負傷者が発生しているが今後かかる事態が再発する場合は、大学当局の要請の有無にかかわらず警察の責務遂行のため独自の判断で学園内に立入り所要の措置をとる場合のあることを警告する」旨文書で田村教養学部長に申し入れがあった。

農学部学生大会 (12.11)

1. 第1次提案採決 (出席 271、委任状 1)

①農・水産・畜獣農工有志提案	賛成 115	反対 140	保留 16	否決
②農代表団 (スト実執行部)	〃 104	〃 117	〃 45	〃
③農・共斗会議提案	〃 69	〃 116	〃 26	〃

(提案内容)

①加藤提案の不十分性を大衆団交で追求。大衆団交団選出を他学部呼びかける。現行の無期限スト体制を一時解除し、大衆団交後その成果を評価する学生大会を開催し、ストについては改めて検討しよう。

②7項目要求、大衆団交早期実現

③加藤提案粉碎、全学集会粉碎、スト終結策動粉碎、全学バリケード封鎖

2. 第2次緊急提案採決 (出席 174、委任状 4)

①農代表団緊急提案	賛成 102	反対 67	保留 4	可決
②農化3年辻個人緊急提案 (共同会議系)	〃 63	〃 96	〃 16	否決

(緊急提案内容)

①すべての学部で正式に選出された代表による大衆団交を早期実現させよう。医、文、養3学部の正式代表団選出を支援しよう。

②加藤提案拒否

12月12日(木)	9:00	駒場構内において前日から1号館に立籠っていた革マル系学生100~150人が第2本館に向う。
	10:00	革マル系学全員第2本館に入る。
	13:00	本郷構内正門に下記立看板が掲出された。 { 12.13 全学総決起集会 デッチ上げ教養代議員大会粉碎 代表団選出運動粉碎 12.2 加藤提案粉碎 行動提起 11時時計台 1時駒場 闘う学友は本日より泊り込み 全学斗、東大全学学生解放戦線
	14:00	法学部25番教室において“医、文、養3学部代表団選出支援総決起集会”(主催、法、理、育、農各自治会委員長、東院協執行部)が開かれ約350人が参加した。
	15:00	駒場構内の第8本館前で“全共斗総決起集会”が開かれ、①明日の代議員大会粉碎、①長期間斗争体制構築等が討議されたが、午後4時40分終了した。
	16:00	医科研講堂において加藤総長代行、大内力(経)教授、台弘病院長と東職約70人との交渉が開かれた。 席上東職側は①明13日教養学部において開かれる代議員大会にさいし紛争が生じた場合機動隊を導入する考えがあるか。②看護婦の増員を文部省に要求せよと迫った。これに対して加藤総長代行は①についてはできるだけ混乱のないよう善処したい。②については関係者と適切なる処置について検討すると回答、午後5時45分交渉を終わった。
	17:00頃	文学部3番教室において同学部学生大会が開かれ560人が参加した。

	大会では討論の後提案の採決を行ない、同学部スト実行委提案(①加藤提案を粉碎し、7項目全面貫徹に向け、戦列を更に打ち固めよ。②一切の敗北的妥協策動を粉碎)を賛成315、反対201、保留29で可決した。また、文学部有志提案(①大衆団交へ向けて代表団5人を選出しよう②全学バリケード封鎖反対③加藤提案の不十分性を徹底的に追求し、7項目要求を実現する)を賛成214、反対314、保留27、で否決、午後10時20分大会を終了した。この後革マル系学生約50人が学内をデモした。
19:00	教養学部代議員大会実現実行委の学生約250人が駒場構内をデモした。
19:00-19:30	理学部化学科講堂において加藤代行と人文系研究所教官との懇談会が催された。
19:15	上記懇談会会場に東職代表等約30人が押しかけ、懇談会終了後本日の医科研における交渉事項を再び要求した。そのさい明13日駒場構内で乱斗事件が発生が予想されるとして、これが防止のため職員は本務に支障のない範囲で同所に赴き行動したいと申し出た。加藤総長代行はこれを了承した。
21:00	法学部会議室において加藤総長代行が記者会見を行なった。
21:10	駒場の第2本館に革マル系の増援部隊約100人が入った模様。
22:00	社青同系学生は正門において検問を行っていた。

12月13日(金)	8:40	駒場構内で革マル系学生約200~250人が武装して正門前に集合、リーダーが演説を行なった。
	9:30	革マル系学生が4号館前で社青同系学生に対する示威を行なった。
	9:50	駒場寮食堂に泊り込みを行っていた、民青、クラス連合等の学生400~500人は寮の東側、食堂東側、寮の間等にいたがデモに移り、第1研究室南を廻って寮前に集結した。
	10:00-14:40	学部長会議開催(医科研)
	10:25-11:45	民青系学生約150人が本郷から駒場に向う。
	10:30	革マル系学生は依然正門前付近で集結中。民青、一般学生の大部分は寮前付近でクラス毎に組をつくり集結し「本日の代議員大会を妨害に来れば守ろう」と呼びかけている。学生は次第に増加した。
	11:00	正門前において共斗会議派学生と革マル系外入部隊が合流して「代議員大会粉碎」を呼び決起集会を開く。
	11:20	民青、クラス連合、一般学生は、寮と寮の両端(道に向かう)にならび前面に民青系学生がならんでいる。革マルは正門付近で突撃訓練を行っている。第8本館から共斗会議派学生(非武装)120人位が寮の方に行進したが、第6本館の方へかえる。
	11:30	現在登校学生数2,400人(泊り込み、寮生を除く)社青系学生は駅西口近くで教育大側からの検問を実施また正門で出入学生をチェックしている。
	12:27	民青系学生約100人が本郷から駒場に向う。
	12:30	共斗会議派学生約100人が同様駒場に向う。
	12:50	登校学生約4,000人をこえる。

13:10	共斗会議派学生は正門前決起集会を終了。革マルと社青同は両翼となりデモに移り、三又路で理学部大学院生等と押し合う。革マルの一部とフロントは三又路を左に曲がり、1号館前から民青系学生にデモをかけたが、同館前に教官が坐り込んでいたため、Uターンして第1本館前に戻る。
13:10	駒場寮食堂において教養学部代議員大会が開かれ、代議員 506 人が参加した (内容別紙)
13:25	本郷の共斗会議派学生 (赤、青ヘル着用) 約 100 人が駒場に到着した。
13:40	登校学生数 5,400 人となる。午後 1 時 20 分頃から革マルの一隊は第 7 本館でデモの後第 8 本館の方へ移動した。民青と思われる一隊が教育大に集結している。
13:50	共斗会議派学生約 400 人 (内 200 人が武装) 第 1 本館前で集会を行なう。
14:00	法学部 25 番教室において同学部学生大会が開かれた。
14:15	駒場の共斗会議派学生の集会終了。デモに移る。デモ隊は 2 隊に分れ 1 隊は正門から出て炊事門へ向かい、1 隊は 1 号館へ向かう。炊事門は閉鎖され、民青、全寮連の一部が防衛のため赴く。
14:30	デモ隊の 1 隊約 250 人は第 1 研究室前でフロントが教官、一般学生のスクラムに突入し角材等を振ったがピケを突破できなかった。この後民青系学生約 50 人が武装して前面に出て、共斗会議派の学生とにらみ合った。一方正門を出た 1 隊「駒場共斗行動隊」約 100 人は寮食堂裏のガケ下へ現われ、付近にいた教官、一般学生数 10 人を押しまくり、旗竿で数 10 枚のガラスを割って食堂へなだれ込んだ。このため代議員大会は中断され、乱斗となり代議員たちもイスを投げ返す等応戦した。このため乱入学生は約 10 分後に押し出された。
14:50	共斗会議派学生は正門前に引きあげを始め、社青同系学生も教職員会館に引きかえす。
15:00	代議員大会再開
15:20	機動隊は炊事門東方および駅付近に待機している。
15:20	正門前で共斗会議派学生約 450 人が集会を行なっていたが、午後 3 時 45 分頃からデモに移り図書館、特高館を通り 5 号館付近で寮前の一般学生の集団と向い合い、坐り込み集会を開く。革マル系学生は正門付近で社青同に向い待機する。
16:45	教養学部代議員大会終了
16:45	上記代議員大会終了後も共斗会議派学生は坐り込み集会を続行したが、フロント系学生は第 8 本館に入り、革マル第 1 部隊は学内デモの後第 2 本館に入った。
16:55	代議員大会出席者が北寮前で集会を開く。
17:10	機動隊は、正門外、炊事門から引きあげ始めた。
17:20	革マル第 2 部隊は第 2 本館に入り、一般学生多数は正門から帰宅し始めた。

17:30	5号館付近の共斗会議派学生は総括集会を開き、①第3、第6本館、4号館を封鎖する②第8本館を駒場共斗本部とする③カンパ④加藤提案粉碎⑤クラスを底辺からスト実再組織する⑥代議員会粉碎を決議した。
17:30	5号館付近の共斗会議派学生は総括集会を終え、構内デモを行なう。
17:45	民青、クラス連合の学生約1,200人（民青系外人部隊約500人を含む）は寮—5号館—第8本館—第1本館—4号館—900番教室—第2本館—弥生道—寮のコースでデモ行進したが、第2本館脇を通過するさい革マル系学生の投石にあい、8人が負傷、うち1人が担架で運ばれた。デモ隊は二つに別れ、1部は第1本館前を通って寮の方へ帰った。
18:10	民青、クラス連合の無ヘルメット部隊は中寮前で集会後解散し、ヘルメット部隊は寮食堂前で集会を行なった。
18:15	教官の召集を解除した。 なお、本日の衝突で負傷者72人（内入院4人）が生じた。そのうち教官の負傷者は下記のとおりである。 重症：神品芳夫助教授、藤原邦男助教授 軽傷：西尾貫一教授、杖下隆英助教 遠藤龍二助手他2人
21:30	法学部学生大会は693人が参加し、討論の後提案採択を行ない終了した（内容別紙）

教養学部代議員大会（12・13）

同代議員大会ではクラス連合、全学連行動委共同提案（全学大衆団交にむけて駒場代表10人を選出しよう、大衆団交で機動隊導入自己批判、学生の自治圧迫の現行法規の撤廃、大学の自治は教授会だけでなく、全階層によって構成されることを認め、新たな管理運営体制をつくれなどの10項目の要求をかかげてたたかおう。

クラス会を基盤に、スト体制を堅持し、東大斗争を勝利しよう。附帯事項：今村養自治会委員長が今後も自治会規約をじょうりんするならば、代表団が代議員大会召集権を代行する）が審議され、一般討論の後先議部分についての採決を行ない賛成430反対33保留37で可決され直ちに選管が組織された。

代議員大会は投票準備中、共斗会議派学生の会場乱入により一時中断されたが、再開後代表団選出の投票が行なわれた。

この開票の間要求項目、スローガンについて討論がなされ、提案を賛成435、反対22、保留34で可決した。

また代表団には民青系4人、クラス連合4人、協議会1人、懇談会1人、計10人が選出された。

法学部学生大会（12・13）

①法有志提案
1、学部団交（学部集会）の要求
1、6項目の要求
1、東大改革のための基本的要求項目
1、大学改革委員会準備会の設置

②緑会委員長
1、大衆団交実現をめざす
1、要求項目を明確にする
1、12・17学生大会開催

	<ul style="list-style-type: none"> 1、法斗委の暴力行為に対して自己批判の要求 1、大衆団交早期実現実行委員会の結成 1、運営協議機関の設置 1、4項目の要求
③懇談会	<ul style="list-style-type: none"> 1、無期スト解除 1、全学集会の成功をめざす 1、学部集会の開催要求 1、連絡協議会の設置要求 (学生→教授) 1、連絡協議会の下に制度改革のための委員会設置要求 1、6項目の要求 1、他学部へ合理的方法による問題解決を呼びかける
④法斗	<ul style="list-style-type: none"> 1、加藤提案撤回 1、全学共闘会議を唯一の交渉相手とせよ 1、全学・法研封鎖 1、自主ゼミ・講座の強化 1、国家権力の介入を許さず 1、闘う院生、助手、医療労働者、職員との連帯を勝ちとろう 1、7項目要求 1、スト実の再編強化
⑤法クラス・サークル連合 (旧称封鎖阻止実委)	<ul style="list-style-type: none"> 1、加藤提案の追求 1、大衆団交早期成功をめざす 1、運営委員会の設置 (学生・院生・教授) 1、バリケード封鎖反対 1、政府・文部省の斗争介入、機動隊の導入反対 1、入試の重要性を認識しよう 1、5項目の要求 1、法学部懇談会批判
⑥代表団アピール	代表団未選出学部は早急に委員選出せよ
⑦ A 学生アピール	学生大会不出席学生批判
⑧ B 学生緊急動議	教養学部代表団選出結果報告 (これを動議として採択するか否で採択し、可決)
⑨法代表団緊急提案	未選出学部から早急に選出されるよう支援し、すみやかに大衆団交開催を要求
⑩法2名有志提案	加藤提案追求
⑪サークル連合	18日に大衆団交を開催し、この結果を討論の後22日に2回目の大衆団交を開催しよう。
⑨⑩⑪	はいずれも定足数に満たないため集会決議とした。
PM. 6.45 採決一覧表	
現在数 693 委任 4	
	賛成 反対 保留
①法有志	215 291 150 …否決
②緑会委員長	144 406 124 〃

③懇談会	310	320	44	〃
④法斗委	102	520	51	〃
⑤サークル連合	218	296	134	〃
⑥代表団アピール	504	112	30	…可決
⑦ A 学生アピール	408	80	90	〃
緊急動議				
⑧教養学部代表団選出結果報告		賛成 392		
PM. 9.10 緊急提案採決一覧表				
現在数 269 委任 4				
⑨法代表団	176	58	22	…可決
⑩法 2 名有志	60	160	33	否決
⑪サークル連合	103	97	45	可決保留
終了 P.M 9:30				

12月14日(土)	11:50	駒場の第8本館前で一般学生と共斗会議派学生(双方で約40人)との間で小ぜり合いがあり、1人が投石で頭部に裂傷を負った。
	13:00-14:00	法学部31番教室において加藤総長代行と自然科学系研究所教官との懇談会が催された。
	15:00	正門付近に予備校生約50人(白、赤、青のヘル着用)旗8本(新宿予備、佐々木ゼミ、城西予備校、駿台予備校)をもち、同門外にビケを張ったが、午後3時50分頃入構、大講堂前で約10分討論を行ない、午後4時頃同講堂に入った。その後午後6時20分28人が帰り、同6時45分残の予備校生は大講堂前でシユプレヒコールを行ない学内をデモして竜岡門から出構した。
	15:00	別に本郷3丁目方面から駿台予備校生約120人がデモし、本郷郵便局付近で「加藤提案支援、完全入試実施」を呼んだが警察官多数が「学生同士の衝突の恐れがある」としてこれを制止したため、午後3時40分頃解散した。

12月15日(日)	11:30-16:17	正門、赤門から日大、中大、法政、東大教養学部等の学生1,739人が入構し、大講堂に入った。
	11:45	駒場の教職員会館付近で革マル系学生10数が投石する。その前銀杏並木で約120人運動場で約100人がデモや体操を行なう。
	13:00	看護学校講堂において、病職、東職との交渉が開かれ、大学側の台病院長、古谷病院事務部長、玉木総看護婦長等と、東職、病職代表、ダコゼ畠山、全国医療労働者協議代表等約50人が交渉した。同交渉は看護婦の増員要求、夜勤の減少の二つの問題につき行なわれ、翌16日午前4時頃までつづけられた。
	13:40	大講堂において“日大斗争報告集会”が開かれ日大共斗会議議長秋田明大の基調報告、三里塚農民代表前田、日大芸術学部代表五十嵐、東大共斗会議の議長山本等の連帯挨拶があり、また羽仁五郎等の講演が行なわれ、前記学生のほか、一般都民約200人(入場料200円)が入場した。また同夜日大斗争記録映画が上映された。

15:00	駒場の第8本館前で共斗会議派学生125人が集会、構内デモを行なった。
15:15	教職員会館付近で革マル系学生と社青同系学生と軽い投石合戦が行なわれた。
17:40	大講堂から東大の共斗会議派学生および日大生併せて約300人（ヘル着用）が出て、同講堂前広場に整列し、内約200人がそのまま法文1号館に侵入、約100人が角材等で武装し同館入口付近の警戒にあたった。
18:05	法文1号館所在の法学部21番、22番、25番、26番、27番の各教室および同学部長室、会議室にバリケードを築き完全に封鎖した。
18:05	法文2号館に続いて進入、法学部31教室の封鎖に入った。
18:50	駒場構内で革マル系学生約400人が「青解粉碎」を叫び、大規模なデモを行ない教職員会館付近で投石合戦が行なわれた。
20:40	大講堂の日大斗争報告集会終了
21:25	日大生約500人が学内デモを行ない、午後9時55分赤門付近で解散、三、三伍、伍同門から出構した。
19:00-22:00	正門、赤門から日大生等726人が出構した。
23:00	教育学部前に民青系学生（主に他大学生）約500人がヘルメット、角材で武装し集結し、同学部前―社研―図書館―正門―工学部列品館―図書館―社研―教育学部前のコースでデモ行進し「封鎖解除」を叫んだ。 なお、このほか教育学部内には民青系学生約200人が集結していた。
23:40	上記デモ隊は引き続き教育学部付近をデモ後同学部に入り泊り込んだ。
	(その他) 深夜工学部6号館付近の路上の敷石・経理部車庫の花壇の囲石が共斗会議派学生にもち去られた。

12月16日(月)	10:00	駒場構内において革マル系、社青同系双方の学生の間で投石合戦が行なわれた。
	11:30	双方20～30mまで接近して投石、罵声の応酬を行なう。共斗会議派の学生約200人が集会を行ない、午後零時45分頃集会を終り本郷に向う。
	12:10	本郷構内では大講堂前において“12・16予備折衝粉碎全学総決起集会”が開かれ、共斗会議派学生約100人がヘルメット角材姿で集合、午後1時20分頃には約350人となり、学内デモを行なったが、午後1時40分頃大講堂前に戻り再び集会を開く。
	12:10	銀杏並木アーケード付近において法、農、工、経、理、育、養7学部代表団主催の公開予備折衝を成功させようとする総決起集会が開かれ、民青系および有志連合等の学生約300人が集合したが、午後1時20分頃には約1,300人となる。

13:20	共斗会議派学生約 400 人（ヘル着用、角材所持多数）が学内デモを行なう。
13:30	駒場構内において革マル、社青同の間に投石が行なわれた。
13:50	教養学部の共斗会議派学生約 300 人が本郷に到着。正門から入構、大講堂前の集会に加わる。 銀杏並木の集会参加者約 2,000 人となる。
14:00	大学側全学集会交渉委員と 7 学部代表団との交渉が開かれたが、午後 2 時 50 分一たん休憩に入る。 民青系の代表団は危険をおかしても本日公開予備折衝を開きたいと主張、一般学生は延期を主張している。
15:00	共斗会議派学生約 700 人（内角材、鉄棒で武装約 300 人）が大講堂からデモを行なったが、途中デモ参加者は増え約 1,000 人となり銀杏並木集会の周辺でデモを繰り返した後、午後 3 時 45 分頃大講堂前広場に戻る。
15:30	駒場構内においては社青同系学生が武装、訓練、デモを行なう。
15:50	銀杏並木の民青および一般学生約 2,400 人が学内デモに移ったが、共斗会議派学生もこれを追うようにデモ行進し、病院通りで民青、一般学生のデモを分断したため小ぜり合いが生じたが、双方そのままデモを続けた。
16:15	大学当局は、本日の公開予備折衝は事実上開けないとしてその旨連絡センターから各部局に連絡した。
16:30	共斗会議派学生デモを終わり、大講堂前で再び集会を開いたが、午後 4 時 50 分解散となり、大講堂に約 100 人が入り、他は 3 グループが分散し総括集会を開いたが、午後 5 時 40 分全員解散した。
16:30	民青、一般学生学内デモを終わり、銀杏並木で再び坐り込み集会を行なったが、文学部の革マル系学生約 30 人が討論を妨害したため携帯マイク 1 個が奪われた。このとき文学部の 2 階から投石が行なわれた。 午後 5 時 50 分頃上記坐り込み集会は終了。約 2,300 人がデモして教育学部前に移り、同所で総括集会の上、午後 6 時 40 分解散した。
16:45	駒場構内においては革マル系学生約 200 人が、投石よけをもち第 1 本館前などをデモし、その後 3 隊に分れて教職員会館の社青同系学生を攻撃する構えをとる。
17:00 頃	上記の 1 隊がときおり、教職員会館下まで突撃し、投石を行なったが、午後 5 時 40 分頃には攻撃が激化した。
18:00 頃	機動隊 6 個中隊が駒場西門付近の道路に待機する。
20:00	本日午後 6 時から医学部本館講堂において社青同主催の東大斗争労学大討論集会が予定されていたがこれは駒場に会場が変更された。この集会に参加の東京地区反戦青年委の労働者、学生が駒場東大駅に電車で到着、約 100 人が同駅ホームから「革マル粉碎」のシュプレヒコールを始めたため、革マル系学生約 30 人が駒場構内から駅ホームになだれ込み、角材、鉄パイプでなぐりかかり、ホームからけちらすなどし、教職員会館から社青同系の学生も応援に出て乱斗となった。間もなく機動隊が出動したため革マルは大学構内に逃げ帰ったが、社青同系学生らは 13 人が機動隊に検挙された。

	<p>なお、革マルはこのさい社青同系の学生など10数人を第2本館に連れ込み集団リンチを加えた。うち1人は翌17日頭を割られ意識不明のまま門外の道路に放り出されているのを通行人が発見した。そのほか革マルはリンチで気を失った数人を目隠して車で病院に運び置き去りにしていったものもある。</p>
--	--

「紛争日誌 その4」(1) (1968 (昭和43) 年12月17日~12月31日)

12月17日(火)	10:04-12:32	学部長会議開催 (宇航研)
	13:42-16:11	評議会開催 (ク)
	13:00	法学部アーケード付近で法斗争委の学生1人と民青系の学生数人が学生大会の会場問題をめぐり口論、法斗争委の学生が押打された。
	13:00-20:30	薬学部第1講義室において同学部学生大会が開かれ98人が参加した。 大会は討論の後、提案採決を行ない①薬スト実提案(7項目要求、加藤提案拒否、大衆団交に向けてスト体制強化)は賛成46、反対44、保留7で可決保留、②中川提案(薬スト実とは7学部代表と協力して早期団交開催に努力せよ)は賛成41、反対43、保留12で否決、③渡辺提案(全学集会粉碎、全学封鎖貫徹を呼び全学大衆団交を妨害してきた全共斗と決別し、早期大衆団交実現、7項目要求、大学運営への参加)は賛成10、反対58、保留28で否決された。
	14:00	銀杏並木アーケード付近で法学部緑会、同クラスサークル連合、同懇談会主催の法学部総決起集会が開かれ約80人が参加した。同集会では学生大会の会場となる教室の封鎖解除要求が決議された。
	15:40	上記集会を終了、付近をデモ後 法学部25番教室下で同教室封鎖派の学生に対して激しい抗議が行なわれたが、これに対して文学部2階から牛乳ビンが投げられ、またデモしてきた医学部共斗会議の学生約25人が抗議を妨害しようとしてもみ合った。
	16:35	上記抗議を終り、法学部学生解散
	17:25	駒場構内においては第2本館を占拠していた革マル系学生約400人のうち約150人は三三、伍伍駒場から出構、残り約250人は武装し裏門から隊列を整え出構した。機動隊が同隊列を追ったが、学生は小田急線代々木八幡駅から乗車し、拠点の早大に戻った。なお第8本館には共斗会議派との連絡員が残されている。
	19:00-20:00	全学集会交渉委員と学生代表団のうち若干名との間で予備折衝について話し合いが行なわれた。学生側は「現時点では予備折衝は公開でなくとも差し支えない」との申し入れを行なった。

12月18日(水)	9:30	正門前に下記立看板が掲出されている。 { 12・18加藤提案粉碎、全学集会粉碎 総決起集会 1時 時計台 エスト実 全共斗
	9:30	教育学部前に下記立看板が掲出されている。 { 1万人の学友は連帯に結集せよ 1時 礪川公園集会

	<p>2時 正門前集会←出発 6時 教育学部前連帯集会 東大民主化行動委</p>
11:00	駒場第8本館前で共斗会議派学生約160人が集会を行ないその後本郷に向う。
12:50	上記学生約220人(革マル、反帝、フロント、社学同ML派)が本郷に到着、正門から入構した。
13:00	大講堂前において ^マ 加藤提案粉碎、全学集会粉碎、全学総決起集会が開かれ約500人が集合した。
14:03-14:10	上記学生は学内デモを行なった後、大講堂前に戻り集会
14:40	民青系の全国動員学生の礪川公園における集会は午後2時20分頃約1,500人が参加しているとの情報が入る。
15:00	共斗会議派学生数人が工学部6号館付近の敷石をはがし運び去ろうとしたため一般学生がこれを制止、詰問した。共斗会議派学生約20人が武装してかけつけたが数分で退去した。
15:00	礪川公園の民青系学生の集会は約3,000人となったとの情報が入る。
15:15	工学部2号館520号室において加藤総長代行と東職との間で下記の問題について公開団交が行なわれた。 ①人事院勧告の完全実施要求について ②東職を全学集会のメンバーに加へよ、との要求 ③看護婦の増員要求
15:40-16:00	大講堂前の集会参加者約850人となり、学内の武装デモを行なった後約800人は大講堂に入り、約50人は法学部25番教室に入る。
16:20	礪川公園に集結した民青系学生のうち約1,800人が黄ヘルメットを着用デモし、東大農学部付近から、正門、赤門前を通過し、聖橋方面まで行進した。
17:50	加藤総長代行と東職との公開団交終了。
18:30	聖橋附近までデモし、解散した民青系学生は赤門から約500人が入構し、教育学部前で全国学生連帯集会を開く。
19:15-22:15	全学集会交渉委員と学生代表団の会談が行なわれた。 大学側は「全学集会を前提として19日午後非公開予備折衝をもつ、出席者は学生自治組織から選出された正規の代表団と交渉委員会としたい」と述べたのに対し、学生側から種々要望があった。
19:30	教育学部前の集会参加者約1,000人となる。
20:00	上記集会参加者約1,200人となり、黄ヘルメットを着用。学内デモを行ない、その後教育学部前に戻り集会し、午後9時頃には歌の合唱など行なう。
21:30	民青系学生約400人が学外デモに移り、赤門を出構、聖橋方面に向う。また約800人は今後の行動等について討論を行なった後約150人が帰途につく。
23:00	共斗会議派学生約400人が大講堂前に整列し、午後11時15分頃から学内をデモ(法学部および教育学部前を通過のさい投石を行ない窓ガラスや立看板等を破壊した)後大講堂前で午後11時40分解散した。

12月19日(木)	1:00	民青系学生約 650 人が武装し、教育学部から学内デモを行ない、途中正門付近の共斗会議派の立看板を破壊した。
	1:50	上記デモ教育学部前で解散、同学部に入り泊り込む
	8:20-9:40	民青系の上記泊り込み学生約 150 人帰途につく。
	10:00	全学集会交渉委員から学生代表団幹事に対し、本日の非公開予備折衝を中止したい旨申し入れた。
	13:00	経済学部第 1 教室において同学部学生大会が開かれ約 480 人が参加した。 同大会では討論の後提案採決が行なわれ、午後 10 時 10 分終了した。(内容別紙)
	14:30	医学部中央館地下 B02、B03 号室において M1、M4 の民青系および一般学生がクラス会を開催中、ヘルメット、角材、鉄パイプで武装した医学部共斗会議の学生 37 人が地下 B02、B03 号室になぐり込みをかけた。 このため数人が負傷し、民青系および一般学生、鉄門クラブ職員が追い出された。この後医学部共斗会議の学生は机等でバリケードを地下各所に築いた。医学図書館宿直室、浴室、手洗所、ボイラー室、鉄門クラブ室も前記 B02、B03 号室とともに使用不可能となった。
	16:05	M1、M2 の民青系および一般学生 52 人が医学部本館脇から封鎖反対のシュプレヒコールを行なったが、午後 4 時 35 分頃終り、教育学部に入った。
19:00	医学部事務職員が前記封鎖に抗議したため、医学部共斗会議の学生はバリケードの状態を改め B02、B03 号室以外は使用可能となった。	
	その他 午前 10 時全学集会交渉委員から学生側代表団幹事に本日の非公開予備折衝中止を申し入れ、これに対して学生側から正午すぎ抗議があった。この後交渉委員と代表団幹事の間で午後 4 時から 30 分間会談した。そのさい学生側は 23 日全学団交の開催、これと併行して各学部でも 21 日一斉に団交を行ないたいと要求した。大学側はこれに対して、本日午後 10 時に回答することを約した。 午後 10 時再び会談が行なわれ、大学側は①早急に全学集会を実現することに努力する②明 20 日非公開予備折衝を行ないたい③学部集会の開催は当然各学部に申し込まれるべきであるが、その実現には交渉委員会としても協力する旨回答した。	

経済学部学生大会 (12.19)				
第 1 次採決	賛成	反対	出席	480
①ゼミ連合提案	194	240	保留	否決
②経斗争委々	115	310	49	々
③経済・スト実書記局々	144	194	132	々
(提案内容)				
①スト解除、入試実現、留年卒業回避、大衆団交実現				

- ②スト体制強化、7項目要求貫徹
- ③早期大衆団交実現

第2次採決

	賛成	反対	保留	
①隅谷ゼミ有志緊急提案	302	117	36	可決
②加藤ゼミ有志	127	250	87	否決
③土屋ゼミ有志	239	34	82	可決保留
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
④ゼミ連絡会議緊急提案	162	250	48	否決
⑤安藤ゼミ有志	128	271	47	〃
⑥3ゼミ連合有志	129	290	33	〃

(提案内容)

- ①大衆団交実現、法25番教室等団交会場の不当封鎖解除
- ②無期限スト解除、院生による経済学部研究室の封鎖解除
- ③大学当局に対し入試実現要望
- ④長期スト解除、大衆団交実現
- ⑤7項目要求、スト体制強化
- ⑥長期スト解除

次回 12月25日または26日 午後1時から学生大会を開くことを決めた。

12月20日(金)	10:10-17:59	学部長会議開催 (農学部)
	13:00	銀杏並木アーケード付近で法学部総決起集会が開かれ民青系の学生約50人が参加した。 同集会では大衆団交早期実現、医学部支援、法25番教室の封鎖解除、法研究室封鎖阻止等について討論が行なわれたが、午後2時25分集会を終り、学内デモを行ない午後3時解散した。
	13:05	教育学部前から民青系ヘルメット部隊約150人が学内デモを行なったが午後1時20分同学部前に戻り解散した。
	13:05	農学部2号館化学1番教室において同学部学生大会が開かれ約295人が参加した。 大会では討論の後、提案採決を行ない午後8時終了した(内容別紙)
	14:35	医学部中央館前で医学部共闘会議の学生と民青系および一般学生が前日の同館地下B02、B03号室封鎖事件につき口論、小ぜり合いを行なった。
	21:30	教育学部前で民青系学生約200人(黄ヘル着用)集会を行なう。
	23:00	法学部斗争委の学生が法学部長室および同学部会議室入口に築かれたバリケードを翌21日午前2時頃にかけて撤去した。 なお、法学部に同学部の民青、クラスサークル連合および懇談会の学生約100人が泊り込みを行なった。
	23:30	大阪大、静岡大等の民青系学生約100人が赤門から入構、教育学部に入った。

		<p>その他</p> <p>全学集会交渉委員と学生代表団幹事との間で午前1時20分から話し合いが行なわれ、学生側から①予備折衝の経過を録音することの用意を求め、②教養代表団についての大学側の要望の趣旨を具体的に明らかにせよと申し入れた。大学側は①については録音したテープを利用する際には、大学側の同意を得ることを条件に同意し、②については議長団に加わることはよいが座長の役割を果さないこと。仮代表として確認書に署名しても差し支えない。養代表団の発言は制限しないが、大学側の同意をうる手続きだけは形式上守ってほしいと回答した。</p> <p>学生側は協議の結果「新たな代表が選出されない限り代表として認める」ことを要求した。</p> <p>大学側は直ちに「新たな代表が選出されるまでは一応代表として認める」という対案を示した。</p> <p>学生側はさらに協議のすえ、午前5時30分すぎ最終的な回答として「教養学部の代表の問題が正当に取り扱われるまでは今日の予備折衝に応じない」と通告した。大学側はこの問題をペンニングにしたままでとりあえず予備折衝しようと提案したが学生側は拒否した。</p>
--	--	---

農学部学生大会 (12.20)				
第1次採決				
	賛成	反対	保留	
①農 有志提案	129	149	11	否決
②農 共斗会議	81	191	19	〃
③農 代表団提案	103	153	33	〃
④農経 有志提案				〃
⑤個人(代表団の1人)提案				〃
(提案内容)				
①スト一時解除、集会討論についての今後の方針				
②代表団運動の破産確認、全共斗に結集、林学大学院のスト支援、大学院全体のストを目指す				
③要求を大衆団交で追求、団交早期実現、全共斗による予備折衝破壊の糾弾、各学科で実行委の結成				
以上の提案採決の後に代表団3人のうちの2人が、1人は現在の代表団運動では7項目を貫徹しえないこと、他の1人は代表団構想は正しいが自分は活動を続行しえないことをそれぞれ理由に相次いで辞任を申し出て承認された。				
第2次採決				
	賛成	反対	保留	
①自治会委員長 緊急提案	77	73	7	可決保留
②農共斗会議	77	74	7	〃
(提案内容)				
①公開予備折衝ができるよう建物封鎖解除を要求				
②農学部代表団を解体し、5人の新執行部を選出				

12月21日(土)	0:30	教育学部前から民青武装部隊約550人がデモし、法学部研究室、法文1、2号館付近で「大講堂、法25番教室を解放するぞ、社会学部を粉砕するぞ」等のシュプレヒコールを行なった。これに対して共斗会議派の武装部隊50人も法文アーケード付近でこれに応酬した。
	1:00	民青系武装部隊デモを再開。工8号館—理1号館—病院通り—医学部中央館—医学部本館—教育学部前のコースで行進した。デモ隊は医学部本館前ではシュプレヒコールを行ない、共斗会議派学生と投石を交わした。
	1:20	上記デモ終了、教育学部地下に入った。
	14:30	駒場構内において社青同系学生が第2本館から相当数の机を教職員会館に運び込む。
	15:00	第8本館で駒場共斗会議派学生が集会を行ない午後3時15分約150人が上智大学の斗争支援に赴く。
		その他 7学部学生代表団から全学集会交渉委員会に予備折衝のための話し合いを再開したい旨深夜電話で申し入れた。
12月22日(日)	2:00	駒場構内において原、山崎両教官が巡回中、第2本館から学生風の2人が品物を運び出すのを発見、2人は品物を路上に棄て逃走した。(品物は美術書、ラジオ等)
	14:30	駒場教職員会館に立籠る社青同系学生が同会館の窓の補修やバリケード作りを行っていた。
		その他 7学部学生代表団から昨夜の電話による申し入れを文書化した要望書が大学側に届けられた。
12月23日(月)	13:00	大講堂前広場にて“12・23加藤提案粉砕、全学集会粉砕、全学封鎖貫徹全学総決起集会”が開かれるため数人が集会の呼びかけを行なう。
	13:50	正門から駒場の共斗会議派学生約120人(青・白ヘル着用)が入構した。
	14:00	駒場構内の寮食堂において民青系・一般学生約1,000人が集合“全学大衆団交実現総決起集会”が開かれた。
	14:20	大講堂前広場の総決起集会参加者約300人となる。
	15:00	医学部中央館から青ヘル着用の共斗会議派学生約40人がデモし、教育学部前の立看板を破壊した後大講堂に向った。
	15:05	大講堂前広場の共斗会議派学生約400人となり、角材、鉄パイプ等を持ち法学部研究室に押しかけ教官、法学部懇談会の学生約50人のスクラムをくずし同研究室に侵入約50人が建物の封鎖にかかる。

15:10	工学部有志連合の学生約 150 人のデモが到着上記封鎖に抗議したが、共斗会議学生はデモを妨害し、同有志連合の横断幕を奪い、燃やすなどの暴挙を行なう。
16:15	共斗会議派の学生は法学部研究室封鎖を終り、学内デモを行なう。
16:50	上記デモを終り、大講堂前で解散約 100 人は大講堂に入った。
17:15	駒場の共斗会議派学生約 120 人正門から出構した。
17:00	駒場構内において寮食堂での“全学大衆団交実現総決起集会”を終り民青系学生約 200 人が「封鎖解除」を叫びデモし、1 号館のバリケードを排除した。
17:50	駒場の共斗会議派学生約 120 人が本郷から帰り、午後 6 時 10 分 1 号館を再封鎖した。
17:50	教育学部前から民青系学生約 150 人が出て集会後学内をデモし教育学部に戻る。別に同学部内には武装した学生約 100 人が待機している。
18:30	駒場構内で民青系学生約 100 人がタイムツデモを行ない第 8 本館前で共斗会議派学生と軽い接触があった。
21:30-21:50	全学集会交渉委員と 7 学部学生代表団幹事との会談が行なわれた。大学側は昨日の学生側の要望に対し回答書を手交した。
	<p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、総長代行代理田村教養学部長、藤吉事務局長、文部省と入試問題協議開始 2、医学部教授会は医局制度解体、研修生の有給、定員化等を内容とした「東大病院の診療科再編成案」をまとめ公表した。 3、加藤総長代行は全学共斗会議に話し合いを行ないたい旨を文書で申し入れた。

12月24日(火)	9:30	教育学部には前日から民青系学生約 400 人が泊り込みを行っていた模様。
	10:15	学部長会議開催 (医科研)
	10:10	駒場の共斗会議派学生 39 人が正門から入構、大講堂前に集合した。
	10:10	正門前に下記立看板が掲出された。 { 本日総決起!! 医デッチ上げ学生大会粉碎 10時 時計台前 武装結集 エスト実 全共斗
	10:10	医学部本館前に下記立看板が掲出された。 { 本日 1 時～5 時 医学科学生大会 医、本館大講堂を開放せよ 以上の民青系の立看板が赤門、正門付近にも掲出された。
	10:20	大講堂から共斗会議派学生約 30 人が正門に向いデモ行進した。
	10:50	医学部中央館から医学部共斗会議の学生約 50 人が出て医学部本館に入り警戒体制をしく。

	医、M1、M2、M3、各クラスで医学部本館前に「医学部本館講堂が万一学生大会会場に使用できない場合は後で連絡する」との立看板を出す
11:05	医学部本館裏の道路の敷石が医学部共斗会議の学生によりはがされ、同本館に運び込まれた。
11:10	大講堂前に共斗会議派学生約 100 人が集合した。
12:10	NTB のカメラマンが医学部本館で撮影中、共斗会議派学生が鉄パイプで打ちかかり、機械をとばされた。 また教育学部寄り路上の掲示板付近で民青系学生が共斗会議派の黒ヘルメットの学生に押打された。
12:15	大講堂から完全武装の共斗会議派学生約 200 人が医学部本館前に移動したがその後同本館裏側に集結する。 民青系学生は約 700 人が教育学部前に集結後防石楯をもつ武装部隊約 150 人を医学部本館前に 2 隊に分け配置した。
13:00 頃	医学科の民青系および一般学生 186 人は医学科学生大会会場を理学部 2 号館講堂に移し、同大会を開く。 これを支援する民青系学生、大学院生約 300 人が武装して同建物に入り防衛体制をとった。
13:30	学部長会議終了
13:50	評議会開催 (医科研)
13:40	共斗会議派学生 (他大学生を含む) 約 200 人が武装して医学部本館南側に集結付近の敷石を破壊してリヤカー等に積みこみ、教育学部前に押しかけ、投石をくりかえし、また角材、鉄パイプ等を振って突撃し、民青系学生約 300 人を追い散らす。民青系学生は教育学部屋上から投石するなど応戦した。
13:50	共斗会議派学生はつづいて 2 手に分れ理学部 2 号館に向い、医学科学生大会粉碎を叫んで同館に突入をはかり、投石とともに同館の表玄関、裏玄関の扉を角材、鉄パイプで破壊する。 これに対して民青系学生は経済学部裏通り付近で投石し、角材を振り乱斗した。
14:10	民青系学生約 100 人、共斗会議派学生約 250 人が経済学部裏通りで投石合戦を続行、負傷者多数が生じた。 また同所に駐車中の自動車 3 台が横転され、他の数台も投石で窓ガラスが破壊された。
14:13	赤門付近に機動隊約 900 人が出動、待機している。
14:20	経済学部付近の民青系学生は教育学部に入り立籠る 共斗会議派学生は増員され教育学部を左右から監視し、一方理学部 2 号館を包囲し、攻撃、午後 2 時 30 分頃には地下室に突入した。
14:46	評議会中断のかたちで終了
15:00	理学部 2 号館では共斗会議派学生は一階まで侵入したが、民青系学生が応戦し押し戻し、また屋外の共斗会議派学生に対し水や消火剤を浴せる。
15:45	医学科学生大会は執行部 10 人および執行部から全学集会代表団オブザーバー 2 人を選出した。

	16:25	教育学部正面玄関から民青系学生が防石楯を掲げ出撃の構えをとったため、理学部2号館を攻撃中の共斗会議派学生は殆んどが教育学部前に移動する。
	16:45	共斗会議派学生は教育学部に投石すると同時に同学部正面玄関から突入を試み、これに対して民青系の学生も屋上から投石した。共斗会議派学生はこのため立看板を頭上にかざし再び玄関に殺到し、ガラス扉を鉄パイプで破壊するが民青系学生はこぼし大の石や牛乳ピンのタバを投げ落とし防戦、共斗会議派学生は別隊がつきつぎ交替前進し、すざましい激突を繰り返した。
	17:00	共斗会議派学生のうち約320人は大講堂前に引きあげ集会を開き別に約300人は医学部本館玄関前に集合、総括集会を開く。
	17:20	機動隊は引きあげを開始した。経済学部前では一般学生約200人が3グループに分れて集会を行ない、暴力反対を叫んだ。
	17:30	医学部本館前の共斗会議派学生は総括集会を終り、デモして大講堂前に戻り同所の集会に合流した。
	17:45	大講堂前の集会を終り、学内デモ後解散した。
	18:00	理学部2号館から黄ヘル着用約300人、医学科学生らしきヘル無着用者約180人が出て教育学部前移動した。
	18:10	民青系学生約800人が武装して教育学部前に集結した。
	19:20	上記学生は図書館周辺をデモし、教育学部前に戻り、集会后午後7時35分解散、同学部地下に入る。
	21:00	加藤総長代行名で入試中止の及ぼす影響を強調した「学生諸君への訴え」を学内各所に掲示し、また大田代行代理が入試問題について記者会見を行なった。
		<p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、本日午後1時から開催を予定された薬学部学生大会および理学部学生大会は流会となった。 2、駒場の教養学科学生大会で提案されたスト解除案は可決保留となった。 3、本日の共斗会議派学生と民青系学生との激突で負傷者71人（内重傷女子学生1人）が生じた。 4、午後5時から約1時間全学集会交渉委員と7学部学生代表団幹事との会談が行なわれた。学生側から23日付けの交渉委員会の回答をうけ入れる旨の発言があり、予備折衝について具体的な打ち合わせが行なわれた。
12月25日(水)	10:15	民青系学生（ヘル着用）約400人が教育学部前から図書館周辺までデモを行なう。
	14:15	銀杏並木アケード付近で法学部の民青系・一般学生と法斗争委の学生併せて数10人が法学部学生大会会場問題で論争法文1号館25番教室ないし21番、22番教室使用を主張する民青系、一般学生に対し、法斗争委はこれを拒否している。

14:25	上記論争は物分れとなる。民青系、一般学生は約 300 人位が集合した。民青系は法 25 番教室の封鎖解除の呼びかけを行なった。そのさい法文 2 号館 2 階から共斗会議派学生が放水を行なった。
14:35	教育学部から民青系学生約 100 人が武装して図書館付近までデモを行なう。
15:32	法学部の民青系学生は法学部アケード下の玄関から法文 1 号館 22 番教室に入り、バリケードを撤去して学生大会会場の設営を始める。
16:10	法文 1 号館に立籠る共斗会議派学生 5~6 人が縄梯子を用い館外に退去した。
16:17	法 22 番教室に民青系、一般学生約 300 人が入り、同教室を会場とするか、工学部 2 号館講堂を会場とするかについて採決を行なう。共斗会議派学生約 70 人が武装して法 25 番教室窓下に集結した。
17:00	法学部学生大会は工学部 2 号館講堂を会場として開催を決定、民青系、一般学生は法 22 番教室を退去、同講堂に移動する。
17:17	同講堂において法学部学生大会が開始された。
17:17	共斗会議派学生約 20 人が工学部 6 号館付近の道路の敷石をはがし、大講堂方面に運搬する。 これに対して工学部の一般学生約 50 人がこれを制止したが、共斗会議派学生は鉄パイプを振り一般学生を追い散らす。そのさい一般学生 1 人が負傷した。(東大病院で頭部を縫い合わせた。)
17:30	共斗会議派学生約 100 人が法文 1 号館に侵入、法学部玄関を封鎖後、内部の封鎖にかかる。
18:00	法学部学生大会参加者 614 人となる
18:30	法文 1 号館全面封鎖
19:30	共斗会議派学生 3~4 人が大講堂前で軍事的訓練、また、法文 1 号館付近では 15~20 人がたき火を囲み武装して警戒を行なっている。
21:10	法学部学生大会参加者 821 人になる。討論終了 提案の採決に入る。
21:50	法学部学生大会無期限スト解除を可決終了 (内容別紙)
	その他 午後 5 時から約 30 分間全学集会交渉委員と 7 学部学生代表団幹事との予備折衝についての具体的な打ち合わせが行なわれた。

法学部学生大会 (12.25)				
提案採決	(出席 821 人)			
	賛成	反対	保留	
①クラス、サークル連合	212	440	84	否決
②法斗争委	102	620	102	〃
③学生懇談会	431	333	37	可決
④緑会執行部	158	526	112	否決

提案内容

- ①加藤提案を団交の場で内容的追求、団交早期実現、全学封鎖反対、無原則的なスト終結反対
- ②加藤提案撤回、全学封鎖および7項目要求、総長評議会団交
- ③無期限スト解除、全学集会推進、学部集会開催要求、連絡協議会設置、処分制度の根本的改正等
- ④越年スト体制強化、大衆団交実現、教室封鎖解除、6項目要求

12月26日(土)	8:30	<p>東京天文台において大学側と7学部学生代表団との全学集会のための非公開予備折衝が行なわれ、大学側は加藤総長代行のほか福武直(文)、松田智雄(経)各教授、佐藤誠三郎(養)、青山善充(法)各助教授が、学生側からは工、農、経、育、理、法、養の7学部、教養学部教養学科、基礎科学科および理、育、薬、社、農5系大学院代表が出席した。</p> <p>まず、全学集会の性格、大学側出席者、議題について学生側から提案が出され、これについて意見の交換があった後、次の3点について確認書が作成された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、全学集会(全学大衆団交)の性格について今回の紛争(斗争)に関しては了解に達し文書で確認したことを双方がそれぞれの決定機関に持ちかえって確認し、次回の全学集会(全学大衆団交)で双方の意見が一致した時、双方を拘束する正当性を持った決定とする。 2、全学集会(全学大衆団交)には加藤総長代行が出席する。また代表団の要望によって必要があれば、加藤総長代行は関係教官の発言を求めるよう努力する。 3、全学集会(全学大衆団交)の議題は、7項目要求を中心として、学生大会院生総会で決定された要求を今回の紛争(斗争)解決にかぎり原則としてすべて取りあげる。
	12:05	上記予備折衝終了
	13:00	経済学部第1教室において同学部学生大会が開かれ476人が参加、討論の後提案採決を行ない無期限スト解除を可決し、午後8時55分大会を終了した(内容別紙)
	14:00	大講堂前において“12・26上智大学奪還全国教育斗争勝利全都連帯行動”参加の共斗会議派学生約30人が集会、午後3時頃には約70人となり学内デモを繰り返した。
	16:05	上記学生集会を終り約55人が正門から出構清水谷公園に向う。
	17:00	教育大学に集結した民青系学生約100人が赤門から入構。付近をデモした。
	17:40	教育学部から民青系学生(ヘル着用)約150人が出て上記学生と合流。付近をデモした。
	17:50	上記デモ終了。教育大学生約100人は赤門から出構した。
		<p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、加藤総長代行の「(提案)をめぐる基本的見解」を学内で配布 2、総長代行代理大内経済学部長、田村教養学部長、文部省と第2回目の入試問題を協議。

経済学部学生大会 (12.26)				
提案採決	(出席 476 人)			
	賛成	反対	保留	
①経スト実書記局	266	173	36	可決
②経斗争委	〃	〃	〃	
	116	309	41	否決
③経行動委	〃	〃	〃	
	58	320	83	〃
(提案内容)				
①現時点においては学内外の危機的状況に鑑み、スト権を確立した上、無期限スト体制を解除しよう。				
②一切の日和見を粉碎、7項目貫徹までストで闘う。				
③大衆団交早期実現、スト体制堅持、全学共闘の武装解除、法 25 番教室等の封鎖解除、9 項目要求獲得				

12月27日(金)	10:13-16:47	学部長会議開催 (農学部)
	13:30	大講堂内において反帝学評主催の“12・27 東大斗争連帯高校生・予備校生全都総決起集会”が開かれ、討論を行なった後、午後4時30分頃約45人が講堂から出て学内をデモ、正門から本郷3丁目方面に向ったが、竜岡門から再び入構して大講堂に戻り集会後解散した。
	14:00	医学部本館講堂において“医学部総決起討論集会”が開かれ、同学部共闘会議の学生、院生、若手研究者、精神神経科医師等が参加した模様。
	14:00	教養学部において教養学科自治会(駒場会)の学生大会が開かれた。同大会では討論の後提案採決が行なわれ、①駒場会理事会提案(1月9日までの有期限ストに切りかえ、その後スト権のみを保留する)を賛成13、反対53、保留17で否決、②有志によるスト即時解除提案を賛成60、反対29、保留3で可決③共闘会議派提案を賛成16、反対72、保留4で否決し終了した。
	14:20	工学部講堂において法学部集会が開かれ、教官20数人、学生約300人が参加した。同集会では学生側から、全学集会予備折衝の経過報告、所信表明があり、つづいて平野法学部長代理の所信表明、辻前法学部長から学部長辞任理由の開示があった。その後12・25学生大会決定に基づく学生側の要求、それに対する教授会の回答等が行なわれ、その他意見の交換があつて午後6時30分同集会を終了した。
	15:00	理学部2号館講堂において同学部学生大会が開かれた。大会では討論の後、提案採決が行なわれたが、第1次採決では①自治会提案(スト続行、大衆団交実現)賛成73、反対154、保留68、②理スト実提案(封鎖貫徹)賛成89、反対184、保留22、③有志提案(スト解除、理学部全員交渉実現)賛成108、反対162、保留25でそれぞれ否決された。その後緊急提案がいくつか出されたが、「東大斗争の裏りある早期解決をめざし、全学友は毎日登校し、具体的な意思表示を行なおう」との提案が賛成136、反対81、保留41で可決され午後11時30分頃終了した。

17:40	民青系学生約 100 人が教育学部前に集合後学内デモを行ない午後 6 時 10 分解散した。
18:15	民青系学生約 150 人が学内デモ、第 2 食堂前で引きかえし教育学部に戻り午後 6 時 45 分解散した。
19:00-19:40	山上会議所において平野（法）教授が記者会見を行なった。
19:35	医学部本館講堂から共斗会議派学生（赤ヘル着用）約 80 人が出て学内をデモし、赤門付近の民青系学生約 100 人と峙したが、再びデモの後医学部中央館に入る
23:45	教育学部前に民青系学生約 180 人が集合、武装して学内をデモ、このため共斗会議派学生約 30 人が武装して大講堂内で警戒した。

12月28日(土)	9:15	教育学部前に民青系武装学生約 250 人が整列デモに移り、図書館付近を一周後午前 9 時 35 分同学部前に戻り解散した。
	10:45	上記学生約 100 人非武装で教育学部前に集合し、午前 11 時 5 分赤門から出構した。
	13:00	埼玉大学の民青系学生約 50 人が赤門から入構、教育学部に入る。同学部内には 350 人位が待機している模様。
	20:30	上記学生約 200 人武装して軍事的訓練を行なった後、正門付近までデモし、午後 9 時 35 分解散して教育学部に入る。
		その他 7 学部学生代表団から、年内に入試中止を決定することのないようにとの趣旨の申し入れが、加藤総長代行あて文書で提出された。

12月29日(日)	9:23	教育学部前に民青系武装学生約 125 人が集合、第二食堂までデモ後、午前 9 時 40 分同学部に戻り解散した。
	【時刻未記入】	学部長会議開催（神田学生会）
	【時刻未記入】	〃 終了
	13:40	評議会開催（神田学生会）
	15:30	教育学部前から民青系学生約 20 人がデモし、図書館付近を一周後、午後 3 時 45 分同学部に戻り解散した。
	17:05	工学部 5 号館から共斗会議派学生（白ヘル着用）12 人が大講堂までデモし、午後 5 時 19 分同館に戻り解散した。
	17:17	加藤総長代行の「来春の入試について」と題する声明を学内各所に掲示
	18:10	評議会終了
	23:17	医学部中央館から共斗会議派武装学生約 30 人が教育学部一図書館一正門一工 1 号館のコースでデモし、午後 11 時 25 分工 1 号館に入った。

		2、加藤総長代行、田村教養学部長、藤吉事務局長は、午後4時から文部省と再び入試問題協議、現時点の判断として一応入試を中止することで意見の一致をみた。
12月30日(月)	9:50	教育学部前に民青系学生約50人が集合後、デモに移り図書館付近を一周、同学部前に戻り午前10時5分約100人となり赤門を出構した。 (文部省、首相官邸へ政府・文部省の介入反対デモに赴いたものと思われる)
	13:30	民青系学生約100人が赤門から入構、教育学部に入る。
	13:30-16:45	教育学部に駐留の民青系学生約100人が餅つきを行なう。
	14:00	理学部1号館において“東院協総決起集会”が開かれた。午後5時30分頃集会を終了、約50人が学内デモに移り病院通り—教育学部本館—図書館—教育学部のコースで行進し教育学部地下に入る。
	17:30	教育学部前に民青系学生約230人が集合後学内デモ
	18:00	工学部都市工学科の共斗会議派学生(赤、白ヘル着用)13人が工8号館から学内デモ
	22:00	教育学部前に民青系学生約300人が武装して集合後軍事的訓練を行なった後午後11時30分頃から学内デモした。
		その他 東院協総決起集会参加者一同、東大院生協議会から加藤総長代行あて入試中止に関する抗議文が出された。
12月31日(火)	11:25頃	教育学部駐留の民青系学生約25~26人が同学部裏の松村組建築現場から、角材、板、砂、その他の材料を大量(トラック1台分相当)に持ち出したため学生部の警備員が注意したが、これを無視した。 (当時建築現場には松村組の監視員は不在)
	16:25	教育学部前に民青系学生(ヘル着用)約150人が集合、学内デモを行なう。
	19:30	上記において民青系学生約400人がたき火を囲み「あかつきの大合唱」と稱し、集会を開く。
	23:55	大講堂から共斗会議派学生約30人(赤ヘル、角材で武装)がデモを行ない、理1号館—弥生門—農学部方面へ行進した。
		その他 入試中止に関する抗議文が東職から加藤総長代行あて提出された。

(いのうえ いぶき 東京大学文書館)

(あきやま じゅんこ 東京大学文書館)